

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.895
2020.11.8

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

建設労働者が働き続けられるように 埼玉土建が公共工事を視察



懇談に同席するとば市議
(手前右)

10月14日、埼玉土建さいたま北支部による公共工事現場視察にとばめぐみ市議が参加しました。視察先は西部図書館（北区）の中規模修繕工事で工期は2021年3月末までです。この現場には3社で延べ2000人の建設労働者が出入りします。同支部は、契約書面の有無、建設業退職金共済制度（＝建退共※①）の標識の掲示、下請契約は何次までか、コロナ対策や労災防止の重点的なとりくみなどを聞き取りました。

懇談では、現場の方から「公共事業の契約は4週8休だが、工期に間に合わず実際は4週4～6休しかとれない」という実態が

出されました。参加者は「建設職人が働き続けられるよう休暇の保障と、建設キャリアアップシステム（※②）や建退共の周知徹底を」と要望し、あわせて現場の実態を具体的に調べるための職人・業者向けアンケートを依頼しました。とば市議は「せめて公共工事では4週8休が保障できる工期で契約すべき」と話しました。

- ①建設業で働く人達のための退職金制度
- ②技能者の資格、社保加入状況、就業履歴等を業界内で蓄積するしくみ

決算・企業会計（病院・上下水道事業）

市立病院 機能強化で 住民福祉の向上へ



10月6日、決算特別委員会で、神田よしゆき市議が企業会計関連（病院・上下水道）の質問に立ちました。はじめに、病院事業会計について質しました。

神田 さいたま市立病院が昨年12月に開院した。整備計画では医療機能の強化ということで救命救急センター、精神・身体合併症の病棟、緩和ケア病棟があげられているが、効果は現れているのか。

市立病院 救命救急センターの開設には県知事からの指定が必要だが、埼玉県救急医療部会から指定について保留という返答があった。その理由として救急科の専門医を充足させた方がいいという指摘をもらっている。しかしハード面で専用の初療室やICU6床、HCU14床などの整備が進み、重症患者の受け入れ数は増えている。また

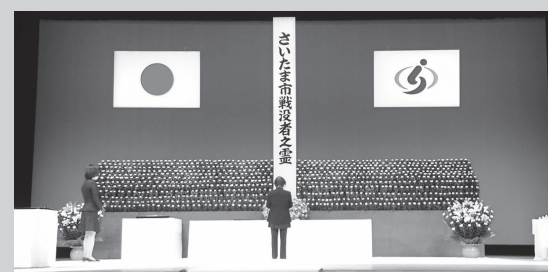
精神科については、30床を新設し、身体合併症を有する精神病患者に対する入院を中心とした診療をおこなっている。そして緩和ケア病棟については、在宅や地域の医療機関、施設で過ごす患者さんが疼痛コントロールのための投薬調整等を目的に一時入院ができるようになったのが強化された点である。

神田 気になるのが医師の充足率。決算資料では106名（83％）ということで、100％に向けた手立てが求められる。

市立病院 特に精神科が医師不足でとても苦労した。計画人員に達していないので大学の医局に継続的に働きかけている。

次に神田市議は、水道事業会計が大幅黒字で経営状況は安定していることを確認し、引き下げは十分できると求めましたが、市は「人口減少」を理由に引き下げを拒みました。

PHOTO NEWS



さいたま市戦没者追悼式 ひらかれる

11月2日にさいたま市戦没者追悼式がおこなわれ、党市議団からとりうみ敏行、松村としお、とばめぐみ市議が出席しました。

また、下水道普及率について普及率の低い4区（西区、緑区、見沼区、岩槻区）についてどう考えるか質し、市は「2019年度もこの4区を重点的に整備した。全体で58ヘク

タール。来年度については西区84.7%、緑区92.6%、見沼区90%、岩槻区70.5%になるように予算要求したいと考えている」と答弁しました。

次期総合振興計画 総括質疑

計画の見直し強く求め
継続審査に

「さいたま市総合振興計画」が今年度で終了するため、次期計画案（期間は10年）が9月議会に市長から提出されました。市議会では次期総合振興計画基本計画審査特別委員会を立ち上げて審査。10月13日に総括質疑が行われ、党市議団から松村としお市議が質問に立ちました。

パンデミックに対応した計画か

松村 パンデミックに対応するために、医師数・看護師数・病院ベッド数が政令市中最低の現状を改善し、保健所体制を強化することを計画で考えているか。

副市長 埼玉県地域保健医療計画に基づき県に協力し、医療従事者の確保に努める。保健所体制は柔軟な組織運営を図るとともに、専門職の平時からの機能強化に努めたい。

松村 充実・強化が見えてこない。重点戦略に書き込むなど位置づけの根本的な見直しが必要だ。

副市長 2月頃から記載について庁内で検討した結果が今回の議案。

松村 これが検討結果なら市執行部の認識が残念なたちであられている。

計画の見直しを求める

松村 将来の都市構造に2都心4副都心を位

置付けて大型開発をすすめて人口を呼び込んできたが、保育園・学校不足が深刻。まちづくりのゆがんだ状況を見直すべき。

都市戦略本部長 さらに発展させる形で現状の都市構造を維持したい。

松村市議は「これまで市は福祉を削減・抑制し、大型開発を進めてきたのが実態」と指摘し、福祉の充実と10区均衡のとれたまちづくりへの転換を訴えました。

松村 新型コロナで明らかになった課題が計画に反映していない。全体を見直すべきだ。

副市長 庁内で十分検討した。必要なことは反映されている。

松村市議は「来年度予算から次期計画が反映する。いま見直さなければ医療・保健体制など必要な事業に力が入らない」と指摘し重ねて計画の見直しを求めました。

総括質疑後に採決される予定でしたが、「採決には審議が深まっていない」と継続審査の動議が出され、全会派が賛成。引き続き審査されることになりました。

金子あきよが現場を歩く！

性暴力被害の声を聴く

私は、10月17日、東京都世田谷区のアーニホールでおこなわれた「性を語る会」主催のシンポジウムに参加しました。「フラワーデモ」を呼びかけてきた北原みのりさん、性暴力被害にあった障害者への支援に取り組む弁護士の杉浦ひとみさんが講演。その後、ディスカッションが行われました。

昨年3月、性暴力被害に関する裁判で無罪判決が相次いだことに抗議するため「フラワーデモ」に取り組むようになった北原さんは、「被害者が声を上げるためにはその声に耳を傾け、あなたの言うことを信じる、とのメッセージ『#With You』が必要でした」と語りました。その点で、自民党の杉田水脈衆院議員の「女性はいくらでも嘘をつく」発言はこうした女性たちの勇気をおとしめるものだ、と批判しました。



フラワーデモで被害者の声を聴く
(2019年12月・浦和駅前にて)

杉浦さんは、障害者が「被害にあいやすい」「被害を証明しにくい」「被害が重篤化しやすい」といった傾向があることを指摘し、とくに障害者の特性をよく知る福祉施設の職員、障害児学校の教員などが加害者になっているのは許しがたい、被害者救済のための刑法改正などが課題となる、と提起しました。

ディスカッションでは、私たち自身も含め性暴力についての社会の認識、行政のとりくみもまだまだ遅れているということに気づかされました。さいたま市では犯罪被害者支援条例が制定される契機でもありますから、議会の場で、必要な支援を行政に対して求めていきます。

あなたの身近な議員です



市議(北区)



市議(浦和区)



市議(緑区)



市議(桜区)



市議(見沼区)



市議(南区)



市議(中央区)

神田よしゆき とりうみ敏行 松村としお 久保 みき とばめぐみ 金子あきよ たけこし連